

MIE KIHOKU TOWN



ごあいさつ

紀北町は、三重県南部の東紀州地域の玄関口に位置し、大台山系から連なる急峻な山々と熊野灘特有のリアス式海岸に囲まれた自然豊かなまちです。また、日本有数の多雨地帯の中にあるため、見事な森林を育成させ、夏は涼しく冬は温暖な地です。

ユネスコ世界文化遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」として登録されている熊野古道は令和6年7月に登録20周年を迎え、世界に誇る観光資源として誘客に向けた機運を高めていくとともに、歴史的価値や文化的景観を次世代まで守り伝える取り組みを続けていきます。

基幹産業である第一次産業では、カツオ、伊勢エビ、アオサ、渡利ガキなどの海産物やFSC認証を受けたヒノキ材、柑橘類、トマトといった商品が県内外で高い評価を受けているところです。

また、勇壮な祭りとして知られる「船だんじり」、「関船祭」をはじめとして町内各地区では伝統ある祭りが受け継がれていて、中でも「きほく燈籠祭」の巨大な燈籠と花火の競演はこの地域で最大級の祭りで県内外からもたくさんの来場客でにぎわいます。

どうぞ皆さま、紀北町の「自然」、「食」、「文化」を存分に堪能していただきますようお願い申し上げます。発刊のごあいさつとさせていただきます。



紀北町長 尾上 壽一

みんなが元気！紀北町

～豊かな自然、にぎわいと笑顔があふれるまち～

紀北町第2次総合計画で定めた町の将来像「みんなが元気！紀北町～豊かな自然、にぎわいと笑顔があふれるまち～」を目指し、令和4年度からの後期基本計画では「安全」・「健康」・「活力」・「学び」のまちづくりをテーマとした四つの重点プロジェクトをもとに施策を推し進めています。

世界遺産と 暮らして20年

馬越峠

ヒノキの美林を縫うように敷き詰められた石畳が有名な馬越峠はアクセスも良く、人気の峠です。

人がつなぐ 熊野古道

古代から中世にかけて熊野三山（本宮大社、速玉大社、那智大社）への信仰により、上皇から庶民まで多くの人が熊野を参詣しました。その参詣者が歩くために整備された道を総称して熊野古道と呼びます。熊野三山と熊野古道の一部が平成16年に「紀伊山地の霊場と参詣道」としてユネスコの世界文化遺産に登録され、紀北町では「伊勢路」に含まれる五つの峠が世界遺産となっています。

令和6年7月には登録20周年を迎え、町内における貴重な観光資源としての位置づけを再確認するとともに、誘客に向けての機運も高くなっています。



保全活動

町内では、荷坂峠まもる会、ツヅラト峠を世界へつなぐ会、始神峠を守る会、海山熊野古道の会の4団体が保全活動を行っています。倒木や土砂流失の復旧、道標や橋の管理など人の手で熊野古道は守られています。



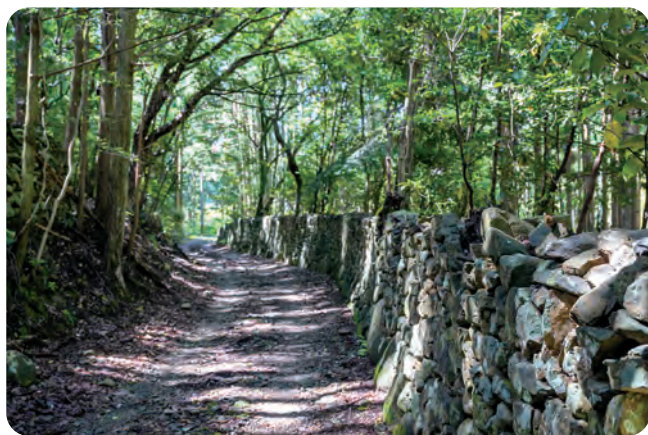
熊野古道語り部

地域の歴史や文化、自生する草花など見どころをガイドしてもらえます。



始神峠

峠の展望台からは熊野灘に浮かぶ島々や始神さくら広場が見渡せ、季節を感じられる展望が魅力の峠です。



荷坂峠（猪垣）



ツヅラト峠（野面乱層積）



三浦峠

PICK
UP!

熊野古道を未来に

世界遺産登録された町内五つの峠は、紀北町の自然と人々の営みの中にあり、地域住民の保全活動により幾多の災害を乗り越え、守られてきました。今後は、世界遺産登録に向けた取り組みからこれまでの20年で醸成された「熊野古道と暮らし、守る活動」を地域文化として継承していく必要があります。

自然と

暮らすまち

銚子川

町内では赤羽川、船津川、銚子川の3本の大きな川が海に注ぎ、人々の暮らしに恵みをもたらしています。中でも銚子川は抜群の透明度を誇り、夏の川遊びなどで地域の人たちに愛されてきました。

360度自然に 囲まれるまち

紀北町は吉野熊野国立公園に含まれる大台山系の山々や熊野灘、清流銚子川、世界遺産熊野古道など360度自然に囲まれ、人々の生活や仕事と常に隣り合わせとなっています。紀北町の人たちは幼少の頃から川遊びや魚釣り、山登りなど自然の中に身近な遊びを見つけて育ってきました。近年ではキャンプやレジャーフィッシング、カヤック、サップなどのアウトドアアクティビティの流行もあり、都市部から紀北町の自然を求めて訪れる人が増えています。

氷ばく

年間平均気温が約16度ある温暖な気候の紀北町で、意外な自然現象を見ることができます。海から直線距離でわずか10kmほどの谷間では、高さ30mを越える清五郎滝が氷に包まれます。



紀伊の松島

大小の島々が熊野灘に浮かぶ展望は「紀伊の松島」と言われるほど美しく、場所や時間によってさまざまな表情の景色を見ることができます。



象の背（便石山）

巨岩の上から見渡す絶景は撮影スポットとして大人気です。

PICK
UP!



天満洞

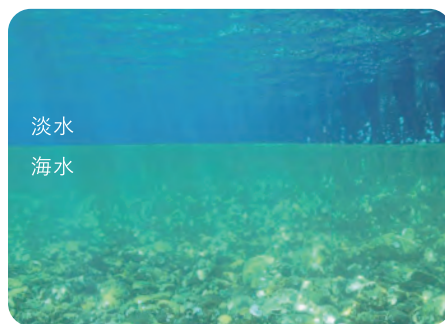
春分の日と秋分の日それぞれ前後3日間ほど、船越海岸から見える海食洞門の天満洞と日の出が重なります。天満洞は三重県の天然記念物に指定されています。



多様な生態系

海、山、川とそのつながり目となる汽水湖や里山など多様な自然環境に恵まれた紀北町にはさまざまな生物が生息し、豊かな生態系を築いています。

ゆらゆら帯



下流域まで透明度が高い紀北町の河川では、上流からの流れる淡水と潮の干満によって海からさかのぼる海水が上下2層に分離しているところが観察できます。その境目がゆらゆらと混ざり合うことから「ゆらゆら帯」と呼ばれています。

この川の底をさかのぼる海水は塩水くさび^{えんすい}と呼ばれ、海から川へ^{そしょう}遡上する生き物は、この塩水くさびに乗って川に入り、ゆらゆら帯で塩分濃度の違いに体を慣らしながら上流へと上っていきます。

「みんなが元気！ 紀北町」の まちづくり

紀北町第2次総合計画の「みんなが元気！紀北町～豊かな自然、にぎわいと笑顔があふれるまち～」の実現に向け五つの基本目標をもとに各施策に取り組んでいます。その中で、住民の利便性の維持・向上、資源・財産の利活用、地域課題の解消などの取り組みをご紹介します。



おでかけ応援サービス 「えがお」

買い物や通院のほか、観光など町内の移動手段としてタクシーのように使える「えがお」を運行しています。

【配車センター】
TEL 090-7673-3894



いこかバス

公共交通空白地域の利便性向上のため、「海野線」「便ノ山線」にコミュニティバスとして「いこかバス」を運行しています。



スポーツ合宿・大会誘致

既存体育施設の有効活用と町内宿泊者の増加を目的に合宿や大会誘致の取り組みとして、施設と宿泊の予約を電話1本でまとめて受け付けるほか、施設使用料の減免を行っています。



四條畷市との交流事業

大阪府の四條畷市と友好姉妹都市として提携しており、四條畷市の小学生を対象とした体験事業やイベントへの相互参加などにより交流を深めています。



DX（デジタル・トランス・フォーメーション）

に向けた取り組み

デジタル田園都市国家構想

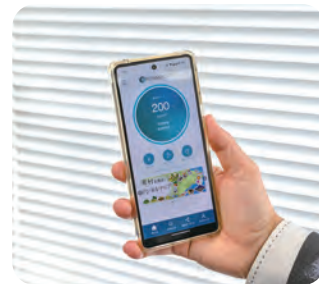
「美村プロジェクト」

紀北町、多気町、明和町、大台町、度会町の5町が広域連携し、マイナンバーカードをはじめとするデジタル技術を活用した地域課題の解決や、魅力ある地域づくりに取り組むデジタル田園都市国家構想三重広域連携モデル「美村プロジェクト」を令和4年度からスタートしました。



マイナンバーカードの活用

夜間や休日、出張申請サポートによりマイナンバーカードの交付率は82%を超え、電子申請など行政サービスで活用の機会が増えています。



スマホ教室・相談

デジタル化する社会の中で必須となっているスマートフォンの使い方についての教室や相談窓口を開設しています。



ごみ減量への取り組み

町では生ごみ処理機の購入補助やレンタルのほか、「スポゴミ」などのイベントを実施し、ごみの減量に向けて取り組んでいます。



クリーン クリーンデー

年に一度、大雨による冠水や害虫の発生から暮らしを守るため地域の住民が主体となって道路の側溝や排水路などの清掃が行われます。

環境宣言のまち

PICK
UP!

「自然と共生の町」宣言

紀北町は、世界遺産の熊野古道をはじめ、四季を彩る大台山系の山々、清らかな水、海の恵みをもたらす熊野灘があり、自然豊かなまちである。

この自然と人の営みが、歴史をつくり生活と文化を育んできた。

しかしながら、経済活動や物質的な豊かさが優先されると、水質汚濁、大気汚染、土壌汚染などの環境破壊により、自然と調和のとれた生活が失われる。

町、住民、事業者は、自然の景観と環境が生活と密接なものであると深く認識し、自然・環境を守るため、ここに「自然と共生の町」を宣言する。

- 一. 自然・環境問題に一体となって取り組みます。
- 一. 豊かな自然を尊び、親しみ、未来につながる活動を行います。
- 一. 自然を守り、健康で豊かな生活を築きます。

暮らしを守る

「安全」のまちづくり



消防出初式

有事の際に先立って対応にあたる消防団、消防、役場が年の初めに一堂に会し訓練を行います。

ずっと 暮らせる 安全なまち

毎年発生する台風や線状降水帯の脅威のほか、甚大な被害が想定される南海トラフ地震への備えとして、これまで各種防災マップや避難場所・施設の整備、防災関連施設の更新を行っています。また地域防災力の強化に向け住民の自助・共助の意識を高めるまちづくりを進めています。

避難行動要支援者の支援など自主防災組織や消防団を中心とした災害時の体制づくりに加え、地域の子どもたちや高齢者が安全に暮らせるよう、地域で助け合い、支え合う連帯感を醸成していきます。



排水機場整備

大雨などの水害への備えとして農業用たん水防除を含めた町内八つの排水機場施設の維持管理、更新を進めています。



自主防災組織

避難路の維持管理や避難行動要支援者名簿の作成、避難所での避難生活対策など地域の特色に合わせた活動を行う自主防災組織の支援に取り組んでいます。



防災訓練

町内一斉の避難訓練と併せ、地域ごとで避難路、避難場所、防災備蓄用品の確認や防災活動の訓練を行います。



地域の見守り活動

地域の子どもや高齢者が安全に暮らせるよう、交通安全ボランティア活動などの支援を行っています。

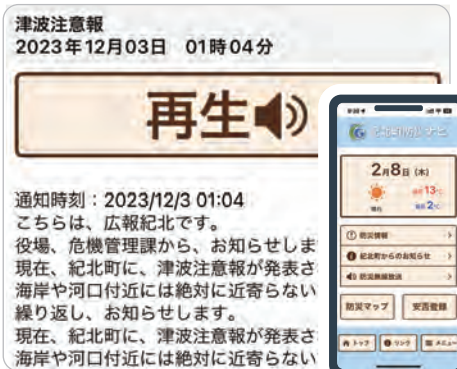


特殊詐欺被害 防止対策

近年、増加している電話による特殊詐欺被害を防止するため、自動録音機能などが付いた電話機などの設置に対し費用補助を行っています。

PICK
UP!

緊急情報発信



災害や有事の際の緊急情報発信手段として防災無線の放送内容などが確認できる紀北町防災ナビや町公式LINEにより情報提供を行っています。

「紀北町防災ナビ」



▲iOSはこちらから



▲androidはこちらから

暮らしを支える

「健康」のまちづくり



紀北健康センター

屋内温水プール、フィットネススタジオ、トレーニングルームを備え、子どもから高齢者まで各世代が利用できる施設となっています。

健やかな 暮らしを 支え・広げる

紀北町では、やさしさで支え合う健康・福祉のまちを目標に、住民の主体的な健康づくりに取り組んでいます。

紀北健康センターの利用促進や「ちょい減らし+10 チャレンジ」のさらなる普及をはじめ、地域における健康づくり活動、運動機会の確保を支援し、運動習慣の定着を促進することで住民の健康増進を図ります。また、各種健（検）診をまとめて受けられる「みんなでいこか！総合けんしん」を実施し、働く世代からの生活習慣病予防やがんの早期発見など健康寿命の延伸に向けた取り組みを行っています。



みんなでいこか！総合けんしん

がん検診・健康診査をまとめて受けられる総合健診事業を行っています。5大がん検診の受診料を無料にするなど受診率の向上に向け取り組んでいます。



ヘルスケアアプリ

美村パスポートアプリで利用できるヘルスケアアプリでは毎日の運動や健康状態を記録できるほか、ちょい減らし+10チャレンジのポイントがたまります。



▲ダウンロードはこちらから



eスポーツ・脳かつ教室

認知症予防や交流を目的に、高齢者に向けたeスポーツ体験事業や脳かつ教室を開催しています。



生涯学習・スポーツ

生涯学習講座や公民館での活動のほか、グラウンド・ゴルフなどの生涯スポーツの取り組みにより、健康で生きがいのある暮らしをサポートします。



ウォーキングイベント

誰もが取り組みやすい運動習慣としてイベントを開催し、ウォーキングコースの紹介や健康に関する講話を行っています。

PICK
UP!

ちょっとチャレンジ ずっと健康

プラス・テン

ちょい減らし+10



毎日の生活の中で、食事のカロリーや塩分、アルコールなどをちょっと減らし、体を動かす時間を10分多く増やす活動として「ちょい減らし+10（プラス・テン）」を推進しています。

これを合言葉として、適切な食習慣と運動習慣を身につけることで、生活習慣病を予防し、健康寿命を延ばそうという取り組みです。この取り組みが評価され「第11回健康寿命をのばそう！アワード」スポーツ庁長官優秀賞を受賞しました。



恵みを、魅力を 「生かし・創る」

紀北町では熊野灘や変化に富んだ海岸線を生かした水産業、温暖な気候と豊富な水で育てられる農業、広大な森林と地形を生かした林業が営まれ、町の基幹産業として多くの方が農林水産業に従事しています。

農林水産業は、豊かな自然の恵みそのものであると同時に、自然の脅威や変化に左右される産業でもあります。急峻な山々、風水害、鳥獣被害、温暖化による生き物の生息域の変化、黒潮蛇行など乗り越えるべき課題は多岐にわたります。ただし、これまでもたくさんの困難があったからこそ、生産者の技術が磨かれ魅力ある産品・産業となったことも事実です。生産者の工夫や新たな課題への取り組みを支援し、魅力の創出、次世代の育成を図ります。



藻場再生事業

近年深刻な状況となっている磯焼け対策や資源保護のため、各活動組織を中心に藻場の再生に向けた食害生物駆除や調査を行っています。



種苗放流

アワビやカサゴ、ヒラメなど定着性の高い水産資源の保全のため、魚類を中心とした種苗放流を行っています。



仕事を誇れる 「活力」のまちづくり

PICK
UP!

FSC 認証・日本農業遺産



平成 12 年 2 月、日本初となる FSC 認証林が紀北町内で誕生しました。令和元年 3 月には紀北町・尾鷲市が「FSC グループ認証」を取得し、現在では私有林も加わったグループ認証へ拡大しています。

森林管理協議会 (FSC) は適切な管理が行われている森林を認証 (FM 認証) し、認証森林から生産される木材の加工・流通についても認証 (COC 認証) を行なうことで、FSC 認証材としてブランド化し利用されています。

また、平成 29 年 3 月には尾鷲・紀北地域の地理的特徴を生かし、何世代にもわたり継承されてきた伝統的な林業が「急峻な地形と日本有数の多雨が生み出す尾鷲ヒノキ林業」として日本農業遺産に登録されました。



第一次産業体験学習

地域の生産者と学校が連携し、食育も兼ねた職業としての体験学習を行っています。



未来へつなぐ

「学び」のまちづくり

英語教育の充実

小中学校、幼稚園、私立保育園へ派遣する外国語指導助手(ALT)を4名配置し、ネイティブ英語に触れる機会を増やすとともに、台湾の学校との国際交流や英検受験の支援など英語教育の充実を図っています。

未来の創り手 「つなぎ・育む」

将来の紀北町を担う子どもたちがいきいきと育つ環境づくりのため、子どもにかかる医療費の負担軽減や保育園の副食費などの無償化対象世帯の拡大といった子育て世帯への経済的支援を行い、子育てしやすいまちづくりを進めています。学校教育では地域の特性や郷土の文化、産業に触れる体験型の授業を実施し、地域に開かれた学校づくりとともに情報化や多文化共生といった時代の変化に対応した教育環境の充実を図っています。



保育料・副食費無償化

3～5歳児の保育料無償化に加え、町では副食費についても所得制限を設けず無償化しています。



子ども医療費助成

通院・入院にかかる保険対象医療費の自己負担分を年齢区分により助成しています。なお、未就学児の診療については、窓口での支払いはありません。



キャリア教育

町内事業所や関係機関と連携し、さまざまな産業、職種に触れる機会を作っています。自由なキャリア形成に向けて多角的な視点を育む取り組みを行っています。

PICK
UP!

放課後児童クラブ 「にじいろクラブ」



共働きやひとり親世帯の支援として、放課後児童クラブを設置しています。「にじいろクラブ」では宿題や読書などの学習支援に加え、地域の方の協力によるものづくりや体験活動を通しておいしいやりや協調性を育む場所を作っています。



地域交流・体験型授業

地域の方や関係機関の協力により、防災、福祉、産業、環境、レジャーなどさまざまな体験型の授業を実施し、複合的な学びや好奇心を高める場を提供しています。



地元食材を活用した 学校給食

学校給食では地域産品を取り入れ、地域で作られる食材に親しみを持ち、生産者や食べられることへの感謝の気持ちを育む食育に取り組んでいます。



伝統行事 & イベント

きほく燈籠祭



船だんじり



関船祭



息子の酒



古里海水浴場



キャンプinn 海山

観光施設



熊野灘臨海公園「城ノ浜プール & ビーチ」



体験型イベント交流施設「けいちゅう」



きいながしま古里温泉



種まき権兵衛の里

紀北の 「おいしい」 そろってます！

紀北町でのお買い物は道の駅やパーキングエリアが便利です。お土産はもちろん、お気に入りの食材を探しにぜひご利用ください。

イチゴ



太陽の恵みで育つ農産品

古里・道瀬地区を中心に温州ミカンや中晩柑、マイヤーレモンなどの柑橘類が栽培されています。また、ニンニク、サトイモ類などの紀北町の土と水で育てられる作物や、ビニールハウスでのイチゴやトマト、栄養豊富な卵などが生産されています。

しらぬい
不知火



マイヤーレモン



卵



トマト



干物



鮮魚



アオサ



渡利ガキ



新鮮な魚介類

長島魚市場、引本魚市場、島勝魚市場ではたくさんの魚やイセエビなど新鮮な魚介類が水揚げされています。また、養殖も盛んで、マダイやハマチなどの魚類のほか、渡利ガキや岩ガキ、アオサやヒロメなどの海藻も育てられ海の恵みを堪能できます。

イセエビ



生節



さんまずし



魚町の味をご家庭で

アジ、サバ、カマスなど季節ごとの魚で作られる干物や郷土の味として親しまれる生節などのカツオの加工品のほか、町の魚になっているマンボウを使った商品など紀北町ならではの味をご家庭で楽しめます。



道の駅「紀伊長島マンボウ」

観光案内所が併設され、長島港水揚げの鮮魚から干物・海藻類など水産加工品の品ぞろえが豊富な道の駅。秋～春は古里地区でとれた柑橘類もお手頃価格で購入できます。町の魚「マンボウ」の串焼き屋台、郷土の味覚「さんまずし」も人気です。



紀北パーキングエリア「始神テラス」

紀勢自動車道の休憩スポットには紀北町のアンテナショップ「キホクニヤ」やレストラン「種まき権兵衛家カフェレスト」があり、地元食材やお土産が盛りだくさんです。



銚子川の水

紀州米みそ

200%
トマトジュース

FSC認証
尾鷲ヒノキのバインダー



道の駅「海山」

周辺には熊野古道馬越峠や清流銚子川など自然を楽しむスポットがあり、レジャーの休憩に便利な道の駅です。軽食やお土産はもちろん、特製シロップを使ったかき氷などスイーツもおすすめです。

イベントでは 紀北町の産品が 盛りだくさん！

お値打ち価格で地元のお店や生産者の商品が手に入ります。飲食ブースの出店や季節限定の商品、詰め放題などイベントならではのコーナーもお楽しみいただけます。



年末・きいながしま港市

毎年年末に7～10日間連続で開催される三重県最大級の食材市。海から0分の言葉どおり、魚介類を中心とした70ブース以上の出店のほか、魚の詰め放題やマグロの解体ショー、無料七輪コーナーで紀北町の海の幸をお楽しみいただけます。

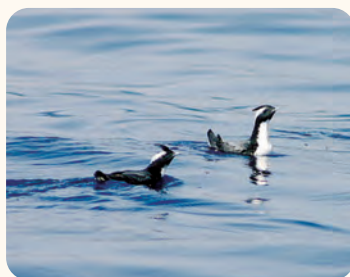


三重 紀北町 海・山こだわり市

地元生産者のこだわりが詰まった魚介類、野菜が並ぶイベント。年3回開催され、旬の食材が食べられる飲食ブースもお楽しみの一つです。

紀北町のあゆみ

平成 16 年	7 月	熊野古道「紀伊山地の霊場と参詣道」として町内 5 つの峠道が登録
	9 月	台風 21 号による豪雨で甚大な被害が発生
平成 17 年	10 月	旧紀伊長島町と旧海山町の合併により「紀北町」誕生
平成 18 年	7 月	島勝浦体験型イベント交流施設「けいちゅう」オープン
	12 月	年末・きいながしま港市初開催
平成 20 年	8 月	黒浜海水浴場オープン
平成 22 年	11 月	相賀小学校校舎改築
		紀北町マスコットキャラクター「きーほくん」誕生
平成 23 年	7 月	町営巡回バス「いこかバス」運行開始
	9 月	台風 12 号により鍛冶屋又の山林で深層崩壊発生
平成 24 年	3 月	紀勢自動車道海山 IC～尾鷲北 IC 開通
	7 月	紀北中学校校舎改築
平成 25 年	1 月	本庁舎移転
	3 月	紀勢自動車道紀勢大内山 IC～紀伊長島 IC 開通
	5 月	現天皇陛下行啓「みどりの愛護のつどい」開催
平成 26 年	3 月	紀勢自動車道海山 IC～紀伊長島 IC 開通
平成 27 年	8 月	紀北 PA「始神テラス」オープン
平成 28 年	3 月	中州公園津波避難タワー完成
平成 29 年	11 月	紀北町健康増進施設「紀北健康センター」オープン
平成 30 年	6 月	「自然と共生の町」宣言
平成 31 年	4 月	長島多目的会館完成
令和 2 年	3 月	紀北町紀伊長島学校給食センター完成
	8 月	おでかけ応援サービス「えがお」運行開始
令和 3 年	4 月	熊野古道「馬越峠」で東京オリンピック聖火リレー
	10 月	紀北町生涯学習センター完成
令和 5 年	7 月	熊野灘臨海公園「城ノ浜プール＆ビーチ」オープン



町の鳥 カンムリウミスズメ



町の木 ヒノキ



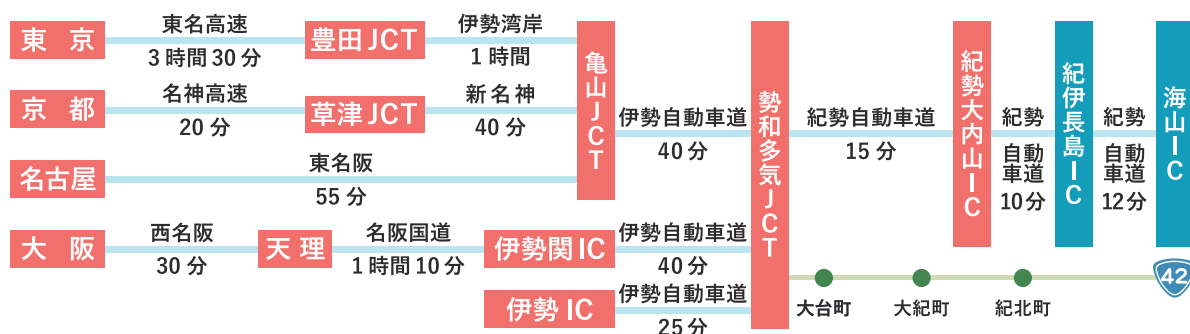
町の花 ササユリ



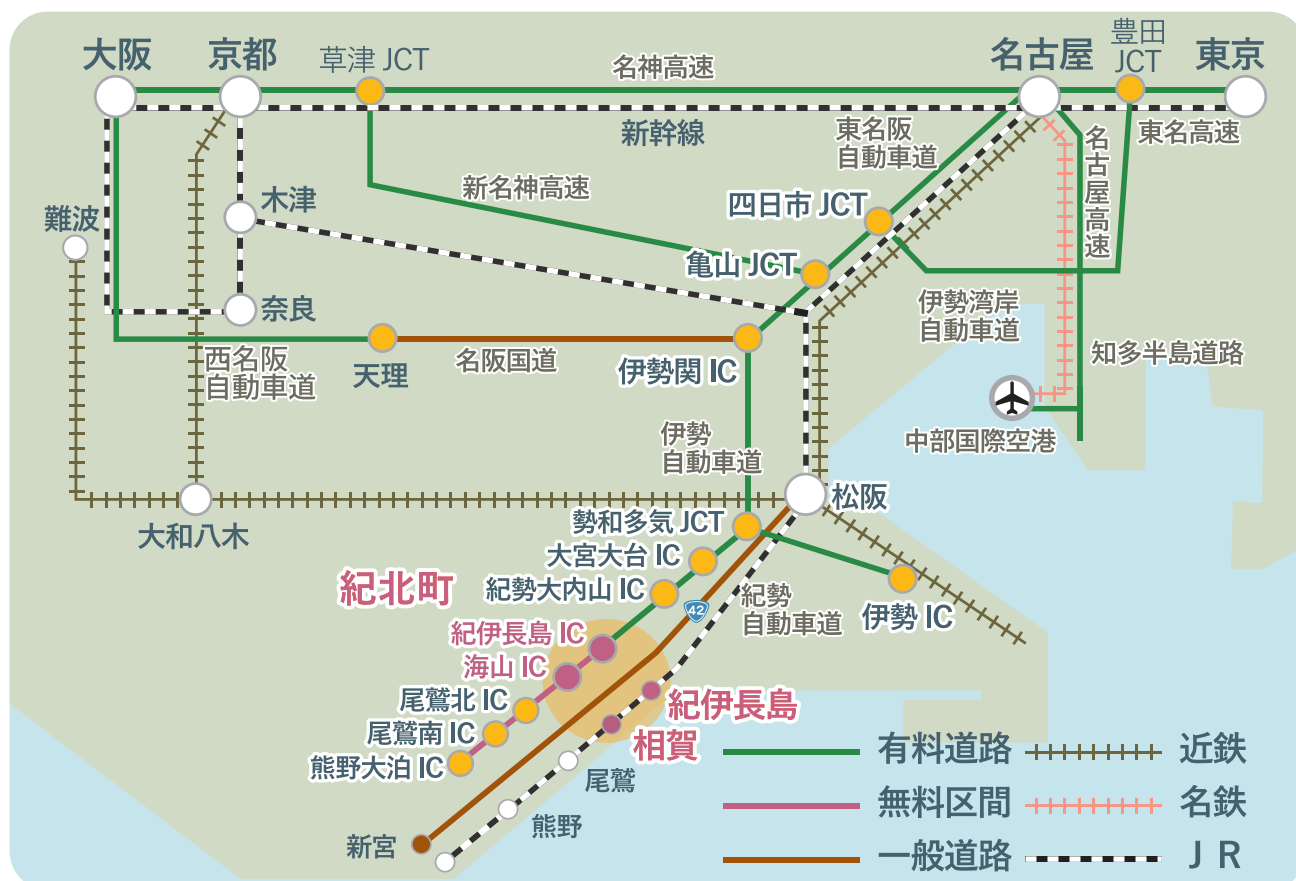
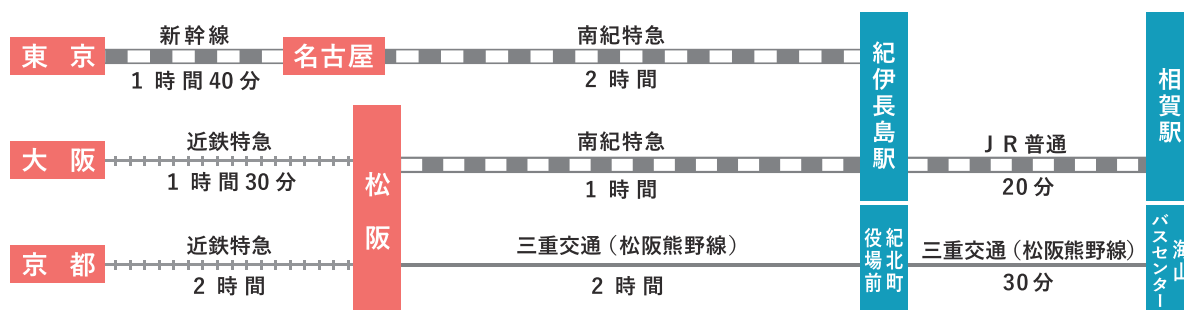
町の魚 マンボウ

紀北町までの交通アクセス

車でお越しの場合



鉄道・バスでお越しの場合





紀北町 町章



紀北町マスコットキャラクター
きーほくん

発行：紀北町企画課

発行年月日：令和 6 年 3 月

〒519-3292 三重県北牟婁郡紀北町東長島769番地1

Tel 0597(46)3113 Fax 0597(47)5908

E-mail kikaku@town.mie-kihoku.lg.jp



紀北町
ホームページ



紀北町公式
LINE



紀北町ふるさと納税
特設ページ



紀北町
観光協会



石油系成分の少ない植物油性インキを使用しています。